

多機能 リモートコマンダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-AV2000U

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

• 安全のための注意事項を守る

• 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

• 万一、異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、感電その他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



下記の注意事項を守らないと、**火災・感電**
により**大けが**の原因となります。

幼児やペットなどに誤って触らせない

このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。

使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能（43ページ参照）を使って操作ボタンをロックしてください。



下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の家財
に**損害**を与えたりすることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

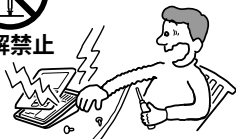
万一、水や異物が入ったときは、リモコンの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。



目次

主な特長	6
------------	---

準備

電池を入れる	7
電池の交換時期	7
電池についての安全上のご注意	7
各部のなまえと働き	8

基本的な使いかた

ソニー以外のAV機器の操作を設定する —メーカー番号の設定—	10
メーカー番号を設定する	11
メーカー番号が正しく設定されているか確認する	12
操作キー表示について	13
お手持ちの機器をリモコン操作する	14
音量調節について	15
各機器の操作についてのご注意	15
その他のリモコン信号を記憶させる —学習機能—	18
正しく学習させるコツ	21
学習したキーやボタンの機能を変更する	22

進んだ使いかた

オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する	24
ワンタッチ _{システム} で連続 _{コントロール} した操作をする —システムコントロール機能—	26
SYSTEM CONTROLボタンに連続操作を記憶させる	26
システムコントロール操作の際のご注意	29
機器選択ボタンに連続操作を記憶させる	30
操作間の間隔を変更する	32

機器選択ボタンの機能を拡張する	33
機器選択ボタンを押すだけで機器の選択と同時に選んだ機器の電源が入るように 設定する（ソニー製品のみ）	33
機器選択に続けて必ず行う操作をひとつ記憶させる	34
すべての機器の電源が切れるように設定する —システム電源オフ機能（ソニー製品のみ）—	36
機器選択ボタンの表示と違う機器を設定する	37
よく使うリモコン操作をSYSTEM CONTROLボタンに学習させる	40
エアコンの信号を学習させる場合のご注意	42

その他の機能

リモコン操作をロックする —ホールド機能—	43
メーカー番号の設定や学習した信号をロックする —プリセットロック機能—	44
オートパワーオフの時間を変更する	45
表示画面の照明を調節する	46

その他

正しくお使いいただくために	47
主な仕様	47
故障かな？とお考えになる前に	48
記憶されている機能一覧表	50
操作早わかり一覧表	57
索引	58
保証書とアフターサービス	裏表紙

メーカー番号一覧表	別冊
液晶キー表示一覧表	別冊

主な特長

RM-AV2000Uは、複数のリモコンによるAV機器操作の煩わしさを解消し、1台でお手持ちのAV機器の集中コントロールを可能にしたリモートコマンダーです。本機は、以下のような特長を備えています。

ソニー製AV機器の集中コントロールがこの1台で可能

工場出荷時には、ソニー製のAV機器のリモコン信号が設定されていますので、そのままソニー製AV機器のコントロールセンターとしてお使いいただけます。

ソニー製品以外のリモコン信号もあらかじめ記憶済み

ソニー製品を含め、主なメーカーのAV機器のリモコン信号が記憶させてあります。機器の種類とメーカー番号を選ぶだけで、お手持ちの機器のリモコン操作が簡単に行えます。(10ページ)

別のリモコンの信号が記憶できる学習機能

お手持ちの機器の付属リモコンの信号が、本機にあらかじめ記憶されていなかった場合は、本機に「学習」させて記憶させることができます。(学習させるときは、お手持ちの機器の付属リモコンを使います。)(18ページ)

また、AV機器だけでなく、エアコンや照明器具などに付属のリモコンの信号を学習させることもできます(一部の機器を除く)。(40ページ)

機器選択ボタンにお好みで自由に機器を設定可能

それぞれの機器選択ボタンに、表示と異なる種類の機器の操作機能を自由に設定することができます。例えば、ビデオを6台お使いの場合でも、他の機器選択ボタンのなかで使用しないものがあれば、そこに設定してお使いいただけます。(37ページ)

複数機器の連続した操作手順をひとつのボタンに記憶できるシステムコントロール機能

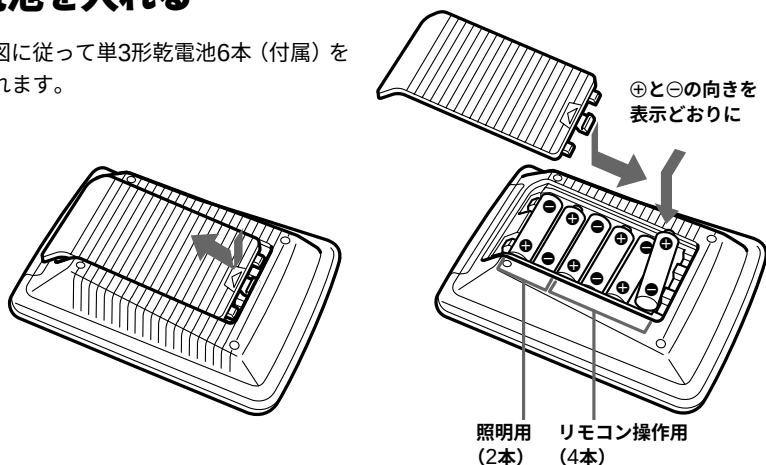
連続したキー操作を記憶させ、ワンタッチで一連の操作を行うことができます。(一連の操作として記憶できるのは16操作までです。)(26ページ)

操作しやすい液晶タッチキー

選んだ機器に応じて、キー表示が変わる液晶タッチキーを採用。操作に必要なキーだけが表示されるので便利です。操作確認に便利なキータッチ音、暗いところでも使える照明付きです。

電池を入れる

下図に従って単3形乾電池6本（付属）を入れます。



電池の交換時期

リモコン操作用電池 (4本)

ふつうの使いかたをした場合、約6か月もちます。電池が消耗すると、液晶タッチパネルに⌂が点灯します。

⌂が点灯したとき、またはリモコンの動作距離が短くなったときは、4本とも新しい電池と交換してください。

ご注意

電池の交換は1時間以内に行ってください。電池を取り出したまま1時間以上たつと、メーカー番号の設定 (11ページ) や学習機能 (18ページ) で記憶させた内容は消えてしまいます。

照明用電池 (2本)

液晶タッチキーの照明が暗くなってきたら、2本とも新しい電池と交換してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

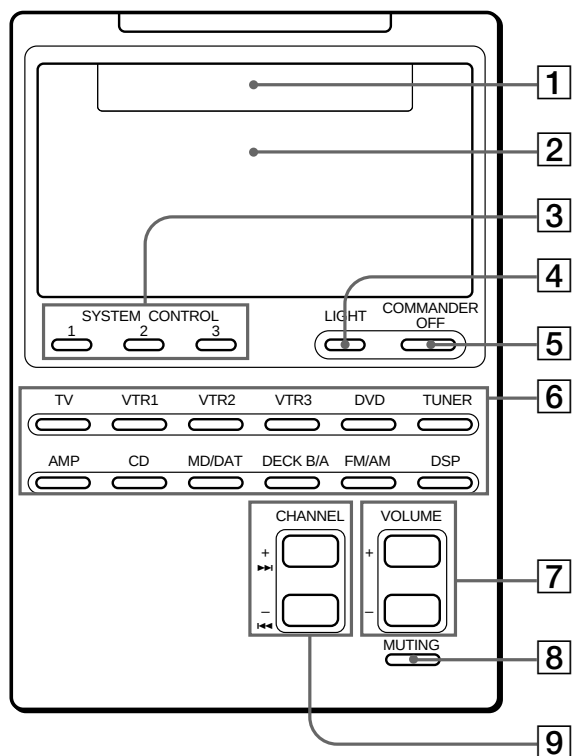
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

各部のなまえと働き



① 機器名表示部

選んだ機器名を表示します。

② 液晶タッチキー（13ページ）

選んだ機器に応じて表示画面が変わり、表示部がそのまま操作キー（タッチキー）として機能します。操作の確認に便利なキータッチ音付きです。

ご注意

ピンやボールペンなど、先のとがったものでキーを押さないでください。

③ SYSTEM CONTROLボタン (26ページ)

連続したキー操作をひとつのボタンに記憶させることができます。ボタンをひとつ押すだけで記憶させた一連の操作が自動的に行われます。

ライト

④ LIGHT (照明) ボタン

液晶タッチキーを照明します。ボタンを押すと照明がつき、もう一度押すと照明が消えます。また、10秒以上キー操作を行わないと自動的に消灯します。この時間は好みで変更もできます (46ページ)。

コマンダー

オフ

⑤ COMMANDER OFF (リモコン電源オフ) ボタン

リモコンの電源を切ります。

⑥ 機器選択ボタン

リモコン操作する機器を選びます。

ボリュウム

⑦ VOLUME (音量調節) +/- ボタン* (15、24ページ)

音量を調節します。

ミューティング

⑧ MUTINGボタン* (15、24ページ)

一時的に音を消します。もう一度押すともとの音量に戻ります。

チャンネル

⑨ CHANNEL+>>>I/-I<<< ボタン

希望のチャンネルを選びます。

***VOLUME+/-ボタンとMUTINGボタンについてのご注意**

映像機器を選んでいるときは、テレビの音量を調節および消音します。オーディオ機器を選んでいるときは、アンプの音量を調節および消音します。音量調節する機器の設定は変えることができます (24ページ)。

リモコンの電源について

COMMANDER OFFボタン以外のいずれかのボタンを押すとリモコンの電源が入り、COMMANDER OFFボタンを押すと電源が切れます。また、10分以上リモコンを使用しないと、自動的に電源が切れます (オートパワーオフ機能)。自動的に電源が切れるまでの時間は変えることができます (45ページ)。

キータッチ音を消すには

♪キーを押すと「OFF」が表示され、キータッチ音が消えます。キータッチ音が出るようにするには、もう一度♪キーを押します。



ソニー以外のAV機器 の操作を設定する

—メーカー番号の設定—

本機は工場出荷時に、ソニー製のAV機器を操作できるように設定されています（右の表参照）。工場出荷時の設定と同じソニー製品を操作する場合は、メーカー番号の設定を行う必要はありません。他社製のAV機器を操作する場合、またはソニー製のAV機器でも動作しないときは、11ページの手順に従ってメーカー番号を設定してください。

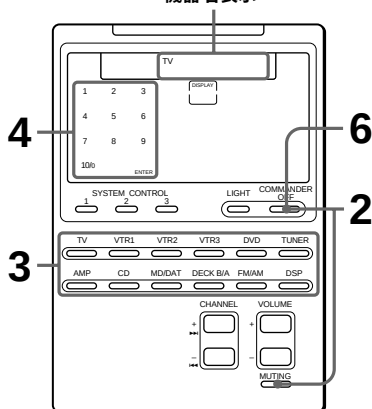
それぞれの機器に対する操作キーの機能については、『記憶されている機能一覧表』（50ページ）をご覧ください。

機器選択 ボタン	操作できる機器	工場出荷時の 設定
TV	- テレビ* - ビデオ一体型 テレビ*	ソニー製テレビ
VTR1	ビデオデッキ*	ソニー製ベータ マックスビデオ デッキ（ビデオ1）
VTR2	ビデオデッキ*	ソニー製8mm ビデオデッキ （ビデオ2）
VTR3	ビデオデッキ*	ソニー製VHS ビデオデッキ （ビデオ3）
DVD	- DVDプレーヤー （DVD） - LDプレーヤー （VD）	ソニー製DVD プレーヤー
TUNER	- デジタルCS 放送チューナー - ケーブルテレビ 用ホームターミ ナル	ソニー製デジタル CSチューナー
AMP	アンプ	ソニー製アンプ
CD	CDプレーヤー	ソニー製 CDプレーヤー
MD/ DAT	- MDデッキ - DATデッキ	ソニー製 MDデッキ
DECK B/A	カセットテープ デッキ	ソニー製 カセットテープ デッキ
FM/AM	FM/AM チューナー	ソニー製FM/AM チューナー
DSP	デジタル サラウンド プロセッサー	ソニー製 デジタル サラウンド プロセッサー

* BSチューナー内蔵テレビまたはビデオデッキを含む。

メーカー番号を設定する

機器名表示

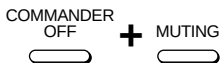


例: 松下電器のテレビを設定するには

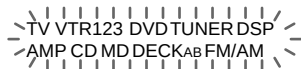
- 1 付属の『メーカー番号一覧表』を参照し、操作する機器のメーカー番号を探す。

メーカー番号が複数ある場合は、1番左の番号を使って設定してください。
例えば、松下電器のテレビを設定するときは、まず「07」を使います。

- 2 COMMANDER OFFを押しながら、MUTINGを押す。



機器名表示が、すべて点滅します。

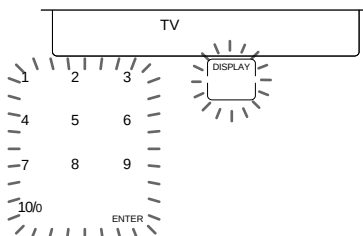


- 3 設定する機器の機器選択ボタンを押す。

TV



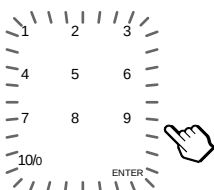
選択された機器名が表示され、数字キー、ENTERキー、DISPLAYキーが点滅します。



DVDボタンにメーカー番号を設定するときは

DVDボタンを何度か押して設定する機器(「DVD」または「VD」)を表示させてください。

- 4 2桁のメーカー番号を押して、ENTERキーを押す。



ピーという音がして、メーカー番号と「ENTER」が順に2回表示されます。



「0」を入力するときは

10/0キーを押してください。

ソニー以外のAV機器の操作を設定する —メーカー番号の設定— (つづき)

5 続けて他の機器にもメーカー番号の設定をしたい場合は、手順3と4を繰り返す。

6 COMMANDER OFFを押して設定操作を終了する。



ご注意

- 『メーカー番号一覧表』にない番号を押すと、ENTERキーを押したあとに「ピピピピ」という音がして「NG」が点滅します。メーカー番号を確かめてから、もう一度設定をやりなおしてください。
- 設定の途中で2分以上放置すると、入力待ち状態が解除されます。メーカー番号の設定を続けるには、もう一度COMMANDER OFFボタンを押しながらMUTINGボタンを押して、はじめからやり直してください。

設定したメーカー番号を確認するには
手順4でDISPLAYキーを押します。設定されているメーカー番号と「ENTER」が2回表示されます。

メーカー番号が正しく設定されているか確認する

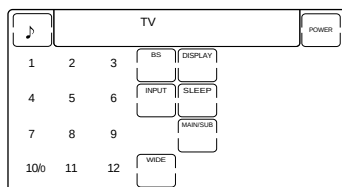
1 確認したい機器選択ボタンを押す。

TV



リモコンの電源が入り、操作画面が表示されます。

例: 松下電器のテレビを設定した場合

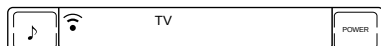


2 操作する機器本体の主電源を入れる。

3 操作する機器に本リモコンを向け
てPOWERキーを押す。



リモコン信号が送られると「」が表示されます。



正しく設定されていれば、操作する機器の電源が切れます。

4 電源の操作が正しくできた場合
は、チャンネルや音量などの他の操作も確認してみる。

詳しくは『お手持ちの機器をリモコン操作する』(14ページ)をご覧ください。

正しくリモコン操作ができないときは

付属の『メーカー番号一覧表』を参照し、操作したい機器に複数のメーカー番号がある場合は、他の番号を使って、もう一度11ページの設定操作を行ってください。

すでにリモコン信号が学習されているキーについてのご注意

学習機能(18ページ)によって、あるリモコン信号がすでに記憶されているキーやボタンには、メーカー番号を設定しても、そのメーカー番号とは関係なく、学習された信号が残ります。メーカー番号の設定どおりのキーやボタンの機能を使う場合は、学習させたりリモコン信号を消してください。

操作キー表示について

メーカー番号を設定すると、設定したメーカーの機器に対応したキーのみ液晶表示されます。各機器に使用できるキーは、メーカーによって異なります。学習機能を使えば、表示されていないキーを使えるようにすることも、表示されているキーの機能を変えることもできます(18ページ)。

使用頻度の高いキーだけを表示するには

液晶キー表示上では、使用しないキーの表示を消しておくことができます。不要なキー表示が見えないので、操作がわかりやすくなり便利です。

- 1 COMMANDER OFFを押しながら、表示を消したいキーのある機器選択ボタンを押す。
- 2 RESETキーを押しながら、表示を消したいキーを押す。
押されたキーはゆっくりした点滅に変わり、通常のリモコン操作時には表示されません。

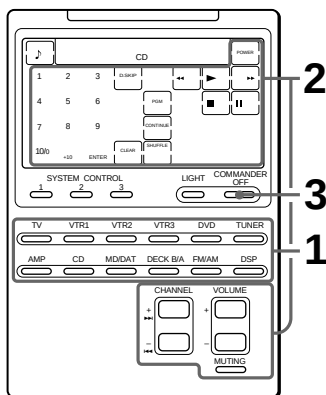
再び表示させるには、もう一度RESETキーを押しながら表示を消したキーを押してください。

ご注意

学習(18ページ)したキーは、表示を消すことはできません。上記の操作を行うと、学習した内容が消えてしまいます。

お手持ちの機器をリモコン操作する

ソニー製品以外の機器を操作する場合は、あらかじめメーカー番号の設定(11ページ)を行ってください。

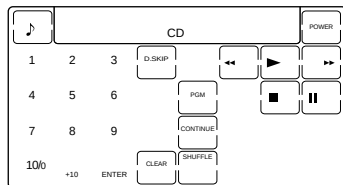


例: CDプレーヤーを操作するには

- 1 操作する機器の機器選択ボタンを押す。



リモコンの電源が入り、操作できるキーが表示されます。



- 2 操作したいキーを押す。

リモコン信号が送られると、「」が表示されます。



液晶タッチキーの他に、VOLUME +/-、MUTING、CHANNEL +/- ボタンも使えます。それぞれの機器の操作キーやボタンの機能については、『記憶されている機能一覧表』(50ページ)をご覧ください。

- 3 使い終わったら、COMMANDER OFFを押してリモコンの電源を切る。



ご注意

機器や機能によっては操作できないことがあります。この場合は、お手持ちの機器のリモコンの信号を本リモコンに学習させて(18ページ)からお使いください。ただし、赤外線リモコンに対応していない機器や機能は、本機では操作できません。

音量調節について

音量を調節するときはVOLUME+/-ボタンを押し、一時的に消音するときはMUTINGボタンを押します。

映像機器を選んでいるときはテレビの音量が調節され、オーディオ機器を選んでいるときはアンプの音量が調節されます。この設定は変えることもできます(24ページ)。

ご注意

- 学習機能(18ページ)でVOLUMEボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を記憶させている機器では、その機器の操作画面でVOLUMEボタンやMUTINGボタンを押すと、テレビやアンプの音量が調節されるかわりに学習した信号の操作になります。
- TVやAMPのVOLUMEボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合、TVやAMPの操作画面のときのみ学習した信号の操作になり、他の機器を選んでいるときは、TVやAMPのメーカー番号の設定によりあらかじめ記憶されていた音量調節の信号の操作になります。
- TVボタンまたはAMPボタンに表示と違う機器を設定(37ページ)していると、他の機器を選んでいるときにテレビやアンプの音量調節はできません。

各機器の操作についてのご注意

ソニー製ビデオデッキを操作するとき

お使いのビデオデッキ本体のリモコン切り換えスイッチに合わせて、VTR1、2、3のいずれかのボタンを選んでください。リモコン切り換えスイッチがないときは、ビデオデッキの種類に応じて次のように選んでください。

ベータマックス	VTR1
8mm	VTR2
VHS	VTR3

ダブルカセットテープデッキをお使いの場合は

操作する前に、デッキAまたはデッキBを選んでください。機器選択ボタンのDECK B/Aボタンを押すたびに「DECK A」、「DECK B」が交互に表示され、デッキを選ぶことができます。

お使いのカセットテープデッキのリモコンの操作ボタンが両デッキ共通の場合は、かわりに本機のD.SKIPキーを押してデッキを切り換えられるものもあります。(設定したメーカー番号によってはD.SKIPキーは液晶キー上に表示されません。)

お手持ちの機器をリモコン操作する (つづき)

テレビの入力切り換えについて

INPUTキーを押すたびにテレビの入力が切り換わりますが、2台以上のビデオデッキをつないでいるときは、INPUTキーを押しながら以下の数字キーを押し、直接切り換えることもできます。

INPUTキー + 10/0	: テレビチューナー
INPUTキー + 1	: ビデオ1
INPUTキー + 2	: ビデオ2
INPUTキー + 3	: ビデオ3
INPUTキー + 4	: ビデオ4

上記の操作をしてもうまくできない場合は、お手持ちの機器のリモコンの信号を本機に学習(18ページ)させてください。

なお、BSチャンネルに直接切り換えるには、右記『BS機器の操作のしかた』をご覧ください。

ビデオデッキの入力切り換えについて

INPUTキーを押すたびにビデオの入力が切り換わりますが、INPUTキーを押しながら以下の数字キーを押し、直接切り換えることもできます。

INPUTキー + 10/0	: VHF/UHF チャンネル
INPUTキー + 1	: 入力1
INPUTキー + 2	: 入力2
INPUTキー + 3	: 入力3

ソニー製のビデオデッキは、上記のキー操作で切り換えられるように設定されています。ソニー製以外のビデオデッキをお使いの場合は、学習機能(18ページ)で同様な操作を設定することができます。

なお、BSチャンネルに直接切り換えるには、下記『BS機器の操作のしかた』をご覧ください。

BS機器の操作のしかた

BSチャンネルへの切り換えは、機器によって操作が異なります。基本的には、お手持ちのテレビやビデオデッキに付属のリモコンと同じ操作です(一部のメーカー、機種を除く)。テレビやビデオデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。

● BSチューナー内蔵テレビの場合

操作のしかた1

- 1 BSキーを押して、BSモードにする。
- 2 数字キー(1、3、5、7、9、または11)を押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた2

- 1 INPUTキーを何度か押して、BSモードにする。
- 2 CHANNEL+/-を押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた3

- 1 CHANNEL+/-を何度か押して、BSチャンネルに切り換える。
- 2 さらにCHANNEL+/-を押して、希望のBSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた4

- 1 BSキーを押しながら 数字キー(1～12)を押して、BSチャンネルを選ぶ。
BS13チャンネルを選びたいときは数字キーの10/0を、BS15チャンネルを選びたいときは数字キーの12を押します。

● BSチューナー内蔵ビデオデッキの場合

操作のしかた1

- 1 BSキーを押して、BSモードにする。
- 2 CHANNEL+/-を押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた2

- 1 INPUTキーを何度か押して、BSモードにする。
- 2 CHANNEL+/-を押して、BSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた3

- 1 CHANNEL+/-を何度か押して、BSチャンネルに切り換える。
- 2 さらにCHANNEL+/-を押して、希望のBSチャンネルを選ぶ。

操作のしかた4

- 1 BSキーを押して、BSモードにする。
- 2 数字キー（1～10/0）を押して、BSチャンネルを選ぶ。
ソニー製のビデオデッキでは、BS5チャンネルを選びたいときは数字キーの10/0と5を、BS7チャンネルを選びたいときは数字キーの10/0と7を、BS11チャンネルを選びたいときは数字キーの1と1をそれぞれ順番に押すものもあります。

操作のしかた5

- 1 BSキーを押しながらCHANNEL+またはCHANNEL-を押して、BSモードにする。
- 2 CHANNEL+/-を押して、BSチャンネルを選ぶ。

● BSモードのときに、主音声や副音声を切り換えるには

- 主音声/副音声を切り換えられないときは、BSキーを押しながらMAIN/SUBキーを押します。
- 独立音声を選ぶときは、BSキーを押しながらINPUTキーを押します。テレビ音声に戻すときは、もう一度BSキーを押しながらINPUTキーを押します。

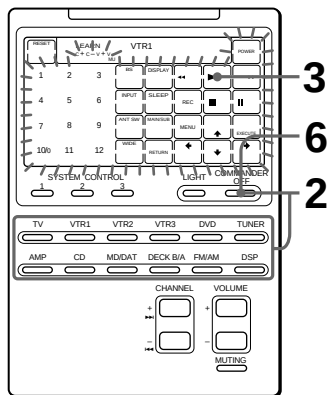
その他のリモコン信号を記憶させる

—学習機能—

メーカー番号を設定しても操作できない製品や機能进行操作するために、本機のキーやボタンに操作したい機器のリモコンの信号を「学習」させることができます。学習機能を使えば、メーカー番号を設定（11ページ）したあとで、それぞれのキーやボタンの機能を変えることもできます。学習させたキーの機能は、付属の『液晶キー表示一覧表』にメモしておくくと便利です。

ご注意

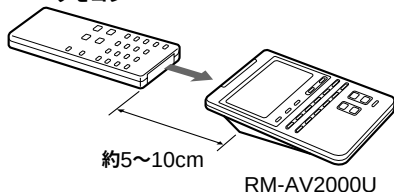
学習できないリモコン信号もあります。



例: お使いのビデオデッキのリモコンの▶（再生）信号を本機のVTR1の▶キーに記憶させるには

- 1 本機（RM-AV2000U）とお使いの機器（ビデオデッキ）のリモコンを向かい合わせにする。

お使いのビデオデッキのリモコン

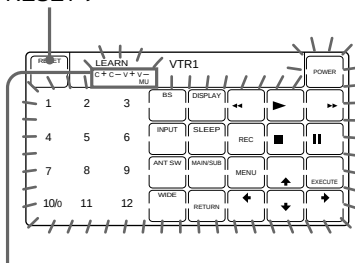


- 2 COMMANDER OFFを押しながら、学習させる機器の機器選択ボタンを押す。

COMMANDER OFF + VTR1

「LEARN」が表示され、学習可能なキーがすべて点滅します（学習待ち状態）。

RESETキー



CHANNEL、VOLUME、MUTINGボタンの表示

「C+C-V+V-MU」は、それぞれ CHANNEL+、CHANNEL-、VOLUME+、VOLUME-、MUTINGボタンを示しています。

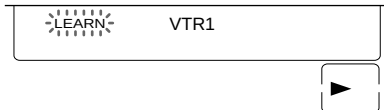
キー表示の点滅について

メーカー番号の設定により、すでに機能を持っているキー（またはボタン）は速く点滅し、機能の入っていないキー（またはボタン）はゆっくり点滅します。どちらのキーおよびボタンにも学習は可能です。

3 機能を追加（変更）したい本機のキーまたはボタンを押す。



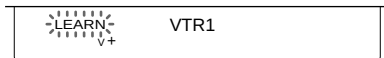
「LEARN」が点滅し、押したキーだけが表示されます。



CHANNEL +/-、VOLUME +/-、MUTINGボタンに学習させるには

学習させたいボタンを押してください。「LEARN」が点滅し、押したボタンだけが表示（「C+」、「C-」、「V+」、「V-」、または「MU」）されます。

例: VOLUME+ボタンを押した場合



4 本機からピーという音がするまで、お使いの機器（ビデオデッキ）のリモコンボタンを押し続ける。

（ピーという音がする前にボタンから手を離すと、正しく学習されないことがあります。）



「LEARN」表示が点滅から点灯に変わります。学習が完了すると、学習したキーは点灯し、学習可能な他のキーが再び点滅します。

「ビビビビビ」という音がして「NG」が点滅したときは

学習ができませんでした。もう一度、手順3と4を行ってください。

リモコン信号によっては、何度か学習操作を行わないと学習が完了しないことがあります。手順4のあとで「NG」が点滅し、そのまま「LEARN」が点滅したときは、もう一度手順4を繰り返してください。

5 引き続き他のキーやボタンに学習させるときは、手順3と4を繰り返す。

他の機器の操作画面のキーやボタンに学習させるには

手順1のようにリモコンを向かい合わせてから、学習させる機器の機器選択ボタンを押し、手順3と4を行ってください。

6 COMMANDER OFFを押して学習操作を終了する。



その他のリモコン信号を記憶させる —学習機能— (つづき)

ご注意

- 学習の途中で2分以上放置すると、学習待ち状態が解除されます。
- 手順3のあと10秒以内に手順4を行わないと、手順2の表示に戻ります。(学習可能なキーがすべて点滅します。) この場合、キー表示が点滅している間に、もう一度手順3を行ってください。
- メモリー容量がいっぱいになると、学習中に「NG」が表示されます。学習したキーのなかで使用頻度の低いものを消去(22ページ)し、空きメモリーを確保してから学習を続けてください。
- 手順3で間違えてキーを押してしまったときは、RESETキーを押しながら間違えたキーを押したあと、手順3からやり直してください。

正しくリモコン操作ができないときは

学習したキーやボタンで正しく操作できないときは、もう一度学習をやりなおしてください。(例えば、VOLUMEボタンを1回押ただけで音量が非常に大きくなる場合などは、学習中にノイズが入った可能性があります。)

学習したあとにメーカー番号の設定を行うと

学習機能が優先されるため、そのキーまたはボタンについてのみ、学習機能で記憶させた機能が残ります。

ダブルカセットテープデッキをお使いのときは

DECK B/Aボタンを押して、学習操作を行うデッキを選んでください。

REC (録音または録画) 信号を学習させるときは

お使いのテープデッキやビデオデッキで、録音や録画するのにふたつのボタンを同時に押す(●ボタンと▶ボタンなど) 必要がある場合は、以下のいずれかの方法で学習させてください。

● 本機でもふたつのキーを押すように学習させるには

19ページの手順3でRECキーを押しながら▶キーを押し、両方のキーを表示させてから、手順4でお使いの機器のリモコンのふたつのボタンを押す。

● 本機ではひとつのキーを押すだけで操作できるようにするには

19ページの手順3でRECキーだけを押し、手順4でお使いの機器のリモコンのふたつのボタンを押す。

VOLUMEボタンやMUTINGボタン にリモコン信号を学習させるときは

- TVとAMP以外の機器で学習させた場合、その機器の操作画面でVOLUMEまたはMUTINGボタンを押したときのみ、学習させた信号の操作になります。
- TVまたはAMPのVOLUMEおよびMUTINGボタンに学習させた場合は、TVやAMPの操作画面のときのみ学習させた信号の操作になり、他の機器を選んだときは、あらかじめTV・AMPのメーカー番号の設定により記憶してある音量調節の信号の操作になります（映像機器とオーディオ機器の違いについては24ページ参照）。
他の機器の操作画面でも学習させた方の操作をしたい場合は、それぞれの機器の操作画面でVOLUMEおよびMUTINGボタンに学習操作を行ってください。

エアコンのリモコン信号を学習させる ときは

42ページのご注意をお読みください。

正しく学習させるコツ

- 学習中に、リモコンを動かさないでください。
- ピーという音がするまで、お使いの機器のリモコンのボタンを押し続けてください。
- 両方のリモコンに、新しい電池を入れて学習を行ってください。
- 直射日光のあたる場所や、照明器具の下などは避けてください。（ノイズが入る原因となります。）
- お使いの機器のリモコンの形状によっては、発光部の位置がずれている場合があります。うまく学習できないときは、リモコンの位置を変えてみてください。

警告

幼児やペットなどに誤って触らせない
このリモコンはオーディオ・ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。

使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能（43ページ参照）を使って操作ボタンをロックしてください。

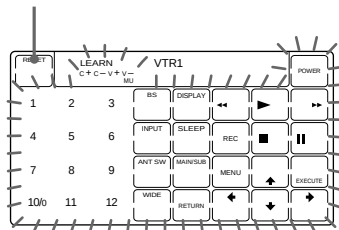
その他のリモコン信号を記憶させる —学習機能— (つづき)

学習したキーやボタンの機能 を変更する

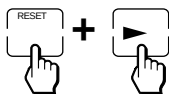
キーやボタンに学習させた内容を変更するには、学習させたりリモコン信号を消去してから、もう一度学習操作を行います。

学習させたりリモコン信号をひとつずつ 消去するには

RESETキー

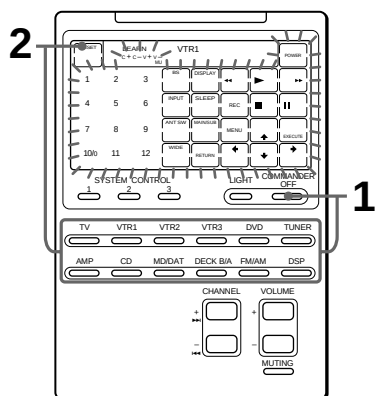


- 1 学習操作の手順2 (18ページ) のあと、RESETキーを押しながら、学習済みのキーまたはボタンを押す。



学習内容を消去したキーが、学習可能なキーと一緒に点滅します。

特定の機器の操作画面の学習内容を
一度にすべて消去するには



- 1 COMMANDER OFFを押しながら、学習内容をすべて消去したい機器の機器選択ボタンを押す。

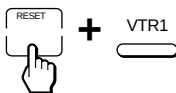
COMMANDER OFF + VTR1

ダブルカセットテープデッキをお使いのときは

必ずDECK B/Aボタンを押して、消したいデッキ (「DECK A」または「DECK B」) を表示させてください。両方のデッキの学習内容を同時に消すことはできません。

2 RESETキーを押しながら、もう一度同じ機器選択ボタンを押す。

ピーという音がして、選んだ機器に学習させてあったすべての信号が消去されます。操作キーは、学習する前の状態に戻ります。



ご注意

- リモコン信号を学習していないときに左記の操作を行うと、メーカー番号の設定（11ページ）が工場出荷時の設定（10ページ）に戻ってしまうのでご注意ください。
- 特にDECK B/Aボタンの場合は、学習させた信号のある方のデッキを必ず表示させてから、左記の操作を行ってください。誤ってメーカー番号の設定を消してしまうと、A、B両方のデッキの設定が工場出荷時の設定（10ページ）に戻ってしまいますのでご注意ください。

オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する

本機の音量調節は、映像機器の音声はテレビのスピーカーから、オーディオ機器の音声はアンプにつないだスピーカーから聞こえることを想定して、テレビとアンプ以外の機器が選択されているときでも、同じ操作画面のままでテレビやアンプの音量が調節できるようになっています。

例えば、ビデオデッキを操作しているとき、音量を調節するためにTVボタンを押してテレビ操作画面に切り換える必要はありません。

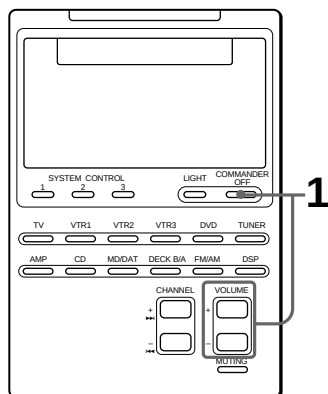
工場出荷時は以下のように設定されています。

機器選択ボタン	音量調節できる機器
TV	テレビ
VTR1、2、3	テレビ
DVD	テレビ
TUNER	テレビ
AMP	アンプ
CD	アンプ
MD/DAT	アンプ
DECK B/A	アンプ
FM/AM	アンプ
DSP	アンプ

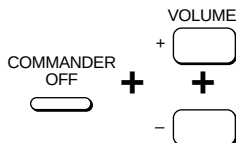
しかし、お使いの映像機器をオーディオシステムにつないでいて、映像機器の音声もアンプにつないだスピーカーから聞こえるように接続している場合は、次の手順にしたがって工場出荷時の設定を変えてください。

映像機器の音量を調節するときにアンプの操作画面に切り換える必要がないので便利です。

工場出荷時の音量調節設定を変えるには



1 COMMANDER OFFを押しながら、VOLUME+とVOLUME-を押す。



ピーという音がして、映像機器
(TV、VTR1、2、3、DVD、
TUNER) の音量調節設定が変わりま
す。

アンプの音量に設定するとき $\left\{ \begin{array}{l} V+V- \\ MU \end{array} \right. \text{ AMP}$

テレビの音量に設定するとき $\left\{ \begin{array}{l} V+V- \\ MU \end{array} \right. \text{ TV}$



ご注意

- 学習機能によって、VOLUMEボタンまたはMUTINGボタンにリモコン信号を記憶させている場合、この手順を行ってもVOLUMEボタンやMUTINGボタンの設定は変わりません。
- TVやAMPのVOLUMEボタンやMUTINGボタンにリモコン信号を学習させた場合、TVやAMPの操作画面のときのみ学習した信号の操作になります。他の機器を選んでいるときは、TVまたはAMP（左記の手順により設定）のメーカー番号の設定によりあらかじめ記憶されていた音量調節の信号の操作になります。他の機器でもTVやAMPの操作画面で学習させた信号を使うためには、それぞれの機器の操作画面でVOLUMEボタンやMUTINGボタンに学習操作を行い（18ページ）、リモコン信号を記憶させてください。

ワンタッチで連続した操作をする

—システムコントロール機能—

連続した操作を記憶させておき、ワンタッチで一連の操作を行うことができます（システムコントロール機能）。

ひとつのボタンに最大16操作までの一連の操作を記憶できます。

例えば、オーディオシステムにつないだビデオデッキでビデオを見るとときには、次のような一連の操作が必要ですが、これをひとつのボタンに記憶させておくことができます。

例:

- 1 テレビの電源を入れる
- 2 ビデオデッキ（VTR1）の電源を入れる
- 3 アンプの電源を入れる
- 4 アンプの入力切り換えをVIDEO1にする
- 5 テレビの入力切り換えをVIDEO1にする
- 6 ビデオを再生する

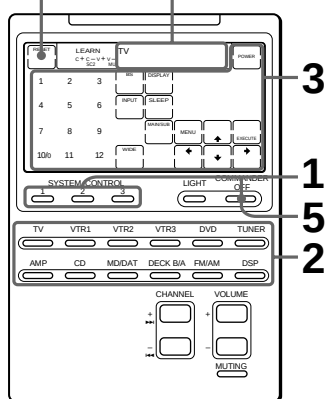
この機能は、SYSTEM CONTROL1、2、3ボタンまたは機器選択ボタンに設定することができます。

機器選択ボタン（30ページ）に記憶させた場合は、その機器選択ボタンを2秒以上押しと連続した操作が始まります。

システムコントロールの連続操作中は、各リモコン信号が送られると同時に対応するキーが液晶画面に表示されます。

システム コントロール SYSTEM CONTROLボタンに連続操作を記憶させる

RESETキー 機器名表示

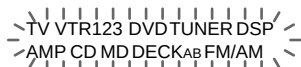


例: SYSTEM CONTROL2ボタンに左記の例の連続操作を記憶させるには

- 1 COMMANDER OFFを押しながら、SYSTEM CONTROL2を押す。

COMMANDER OFF + SYSTEM CONTROL 2

すべての機器名表示が点滅します。



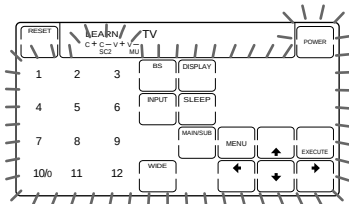
連続操作がすでに記憶されているときは
記憶されている操作が順に表示されます。
(工場出荷時は、SYSTEM CONTROL1ボタンにはソニー製のシステム電源オフ操作(36ページと同じ機能)、SYSTEM CONTROL3にはソニー製の各AV機器の電源オン操作が記憶されています。)

違う連続操作を設定させるには、まず28ページの方法で記憶された内容を消去してください。

2 操作する機器選択ボタンを押す。



選んだ機器の操作キーが点滅します。



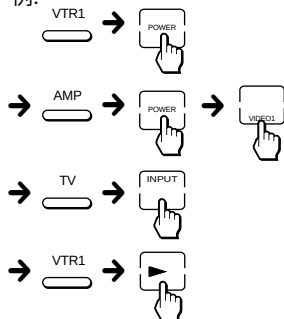
3 記憶させる操作のキーまたはボタンを押す。

例えば、テレビの電源を入れる場合は、POWERキーを押します。



4 手順2と3を繰り返し、連続操作に必要なキーやボタンを記憶させる。

例:



5 すべてのキー操作を記憶させ終わったら、COMMANDER OFFを押す。



ご注意

- システムコントロール機能の設定途中で2分以上中断すると、設定待ち状態が解除され、解除された時点までに設定された操作が記憶されます。再び操作手順を記憶させるには、いったん記憶された内容を消去（28ページ）し、最初から設定しなおしてください。すでに記憶させた操作に追加して、続きの操作を設定することはできません。
- すでにSYSTEM CONTROLボタンにリモコン信号を学習してある（40ページ）場合は、「ビピ」という音がして「NG」が点滅します。この場合は、システムコントロール機能を設定することができませんので、まず学習されている信号を消去（41ページ）してください。
- システムコントロール機能で記憶させた連続操作に使うキーやボタンに対して、メーカー番号（11ページ）を変えたり、学習機能（18ページ）で新たに別の信号を記憶させたりすると、SYSTEM CONTROLボタンを押してその操作をしたときも変更後の信号が送信されます。

ワンタッチで連続した操作をする —システムコントロール機能— (つづき)

システムコントロール機能設定のコツ

システムコントロールの連続操作を記憶させるときに、以下のような工夫をする
と便利です。

操作と操作の間隔について

- 操作する機器にあわせて、操作間隔をお好み
で変更できます (32ページ参照)。
- 連続して送られたリモコン信号を受信できな
い機器の場合は、操作と操作の間に「待ち時
間」を記憶できます。
待ち時間を記憶させるには、27ページの手
順4で記憶させる操作と操作の間に、RESET
キーを押しながらLIGHTボタンを押しま
す。
なお、「待ち時間」もひとつの操作として数
えられます。

操作の順番について

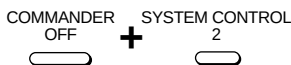
- 連続して送られたリモコン信号を受信できな
い機器の場合に、操作の順番を工夫して記憶
させる方法もあります。
例えば、テレビは通常、電源オンのリモコン
信号を受け取ったあと、しばらくたたないと
次の信号を受信できないため、「電源オンの
次に入力切り換え」などの連続操作が正しく
行われないことがあります。この場合は、以
下のように順番を変えてみてください。

テレビの電源オン→ビデオデッキの電源オン
→テレビの入力切り換え→ビデオの再生

- システムコントロール機能による一連の操作
が終わると、操作画面は最後に操作を行った
機器のキー表示になっています。よく使う機
器の操作を最後に記憶させておくと、そのま
ま引き続きリモコン操作ができて便利です。
(26ページの例では、VTR1の操作画面にな
ります。)

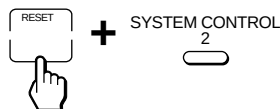
記憶させた連続操作を消去するには

- 1 COMMANDER OFFを押しながら、SYSTEM CONTROLボタ
ン (1、2、または3) を押す。

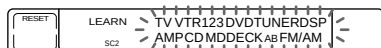


そのボタンに記憶されているキー操作
が順番に表示されます。

- 2 RESETキーを押しながら、もう
一度SYSTEM CONTROLボタ
ン (1、2、または3) を押す。



ピーという音が生じて記憶されていた内
容が消去され、すべての機器名表示が
点滅します。

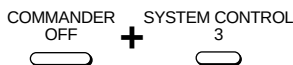


このSYSTEM CONTROLボタンに
新しい連続操作を記憶させたい場合
は、27ページの手順2から5を行って
ください。

SYSTEM CONTROL1、3ボタンを工場出荷時の設定に戻すには

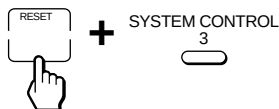
工場出荷時は、SYSTEM CONTROL1ボタンにはソニー製の各AV機器の電源オフ操作、SYSTEM CONTROL3にはソニー製の各AV機器の電源オン操作が記憶されています。工場出荷時の設定に戻すには、次の手順を行ってください。

1 COMMANDER OFFを押しながら、SYSTEM CONTROLボタン（1または3）を押す。



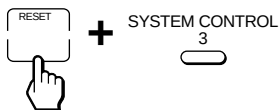
そのボタンに記憶されているキー操作が順番に表示されます。

2 RESETキーを押しながら、もう一度SYSTEM CONTROLボタン（1または3）を押す。



ピーという音がして記憶されていた内容が消去され、すべての機器名表示が点滅します。

3 もう一度RESETキーを押しながら、SYSTEM CONTROLボタン（1または3）を押す。



ピーという音がして工場出荷時の設定に戻り、記憶されている操作が順番に表示されます。

ご注意

操作間の間隔（32ページ）は、この操作を行っても工場出荷時の設定には戻りません。

システムコントロール操作の際のご注意

システムコントロール機能で一連の操作をするときは、以下の点にご注意ください。

- 機器のリモコン受光部が離れすぎたり、障害物があると、ワンタッチで連続して操作が行われないことがあります。

- 上記のような原因またはその他の原因で正しく操作できない機器があった場合は、すべての機器をもとの状態に戻してから再び操作してください。

例えば、機器によっては、電源ボタンを押すと交互に電源のオン/オフを行うため、電源オンの状態でシステムコントロール操作を行うと、電源をオンにするつもりでも、逆に電源が切れてしまいます。このような場合は、システムコントロール機能を使う前に、操作する機器の電源の状態（オンまたはオフ）を確認してください。

- 正しく操作できない場合は、28ページの『システムコントロール機能設定のコツ』もご覧ください。

ワンタッチで連続した操作をする —システムコントロール機能— (つづき)

機器選択ボタンに連続操作を記憶させる

SYSTEM CONTROLボタン (26ページ) と同じように、機器選択ボタンにも連続した操作を記憶させることができます (16操作まで)。

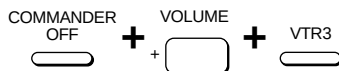
システムコントロール機能を使うときは、機器選択ボタンを2秒以上押します。

ご注意

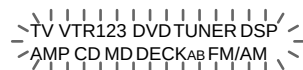
- 機器選択ボタンは、2秒以上押した場合に、連続操作を行います。2秒未満の場合は通常の機器選択ボタンとして機能し、選択した機器の操作画面を表示します。
- 28ページの『システムコントロール機能設定のコツ』、29ページの『システムコントロール操作の際のご注意』もあわせてご覧ください。

例: VTR3ボタンに26ページの例にある一連の操作を記憶させるには

- 1 COMMANDER OFFを押しながら、VOLUME+とVTR3を押す。



すべての機器名表示が点滅します。

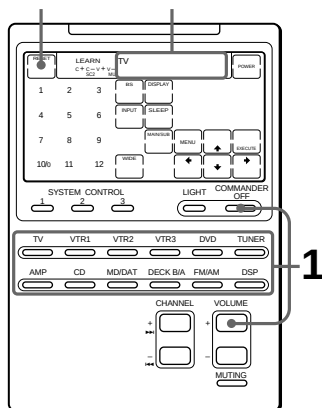


連続操作がすでに記憶されているときは

記憶されている操作が順に表示されます。違う連続操作を設定させるには、まず31ページの方法で記憶された内容を消去してください。

- 2 27ページの手順2から5を行う。

RESETキー 機器名表示



ご注意

- すでにその機器選択ボタンに電源オン機能(33ページ)が設定されていても、左記の操作でシステムコントロール機能を設定することはできません。ただし、システムコントロール機能が優先されるため、電源オン機能は使えなくなります。

システムコントロール機能を消去すれば、再び電源オン機能が使えるようになります。

- すでにその機器選択ボタンに「学習」により手順をひとつ記憶させてある(34ページ)場合は、システムコントロール機能の設定はできません。(「ピピ」という音がして、「NG」が点滅します。)

- システムコントロール機能を設定した機器選択ボタンに、「学習」により手順をひとつ記憶する(34ページ)ことはできませんが、システムコントロール機能は使えなくなります。学習内容を消去すれば、再びシステムコントロール機能が使えるようになります。

- システムコントロール機能を設定した機器選択ボタンに、電源オン機能(33ページ)の設定操作はできますが、そのままでは電源オン機能は使えません。

システムコントロール機能を消去すれば、電源オン機能が使えるようになります。

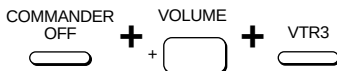
- システムコントロール機能の設定途中で2分以上中断すると、設定待ち状態が解除され、解除された時点までに設定された操作が記憶されます。再び操作手順を記憶させるには、いったん記憶された内容を消去(右記)し、最初から設定しなおしてください。すでに記憶させた操作に追加して、続きの操作を設定することはできません。

- システムコントロール機能で記憶させた連続操作に使うキーやボタンに対して、メーカー番号(11ページ)を変えたり、学習機能(18ページ)で新たに別の信号を記憶させたりすると、機器選択ボタンを押してその操作をしたときも変更後の信号が送信されます。

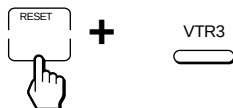
機器選択ボタンに設定したシステムコントロール機能を消去するには

例: VTR3ボタンに記憶させたシステムコントロール機能を消去するには

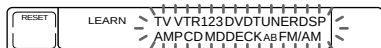
- 1 COMMANDER OFFを押しながら、VOLUME+とVTR3を押す。



- 2 RESETキーを押しながら、もう一度VTR3を押す。



ピーという音がして記憶されていた内容が消去され、すべての機器名表示が点滅します。

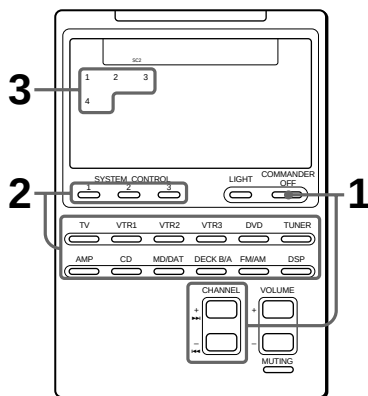


機器選択ボタンに新しい連続操作を記憶させたい場合は、27ページの手順2から5を行ってください。

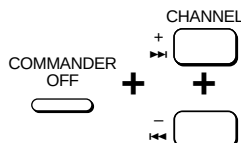
ワンタッチで連続した操作をする —システムコントロール機能— (つづき)

操作間の間隔を変更する

システムコントロール機能の連続操作の各操作間の間隔を、お好みで4段階に調節することができます。



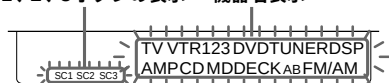
- 1 **COMMANDER OFF**を押しながら、**CHANNEL +**と**CHANNEL -**を押す。



「SC1」、「SC2」、「SC3」表示とすべての機器名が点滅します。

SYSTEM CONTROL

1、2、3ボタンの表示 機器名表示



- 2 間隔を変更したい**SYSTEM CONTROL**ボタン (1、2、または3) または機能選択ボタンを押す。

SYSTEM CONTROL



選んだボタンに現在設定されている時間の数字が点灯し、他の3つの数字は点滅します。



- 3 設定したい時間の数字 (1~4) を押す。

数字が大きくなるほど間隔が長くなります。

1 : 約127ms (工場出荷時の設定)

2 : 約408ms

3 : 約708ms

4 : 約974ms

(ms : 1000分の1秒)

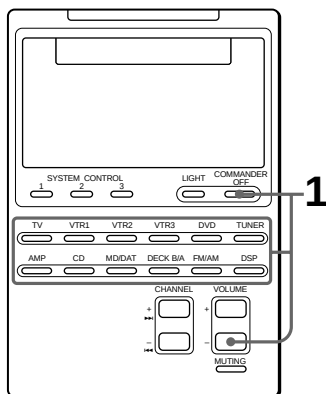


ピーという音がして、選んだ数字が点灯し、他の数字は点滅します。

機器選択ボタンの機能を拡張する

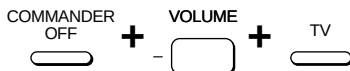
機器選択ボタンを押すだけで機器の選択と同時に選んだ機器の電源が入るように設定する(ソニー製品のみ)

機器選択ボタンにソニー製品の電源オンの信号を追加することができます。機器選択ボタンを押すと、リモコンの操作画面が切り換わり、同時に選択した機器の電源が入ります。



例: TVボタンに電源オン機能を設定するには

1 COMMANDER OFFを押しながら、VOLUME-と機器選択ボタンを押す。



ピーという音がして、「POWER ON」が表示されます。(ボタンから手を離すと表示は消えます。)



電源オン機能の設定を解除するには

上記の手順を繰り返します。ピーという音がして、「ON」表示が消えます。



ご注意

- ソニー以外のメーカー番号を設定しているときは、上記の操作はできません。
- すでにその機器選択ボタンに「学習」により手順をひとつ記憶させて(34ページ)あるか、システムコントロール機能を設定(30ページ)してある場合は、右記の電源オン機能の設定操作はできませんが、そのままでは電源オン機能は使えません。学習内容やシステムコントロール機能を消去すれば、電源オン機能が使えるようになります。
- 電源オン機能を設定した機器選択ボタンに、「学習」により手順をひとつ記憶させたり(34ページ)、システムコントロール機能を設定(30ページ)することはできませんが、電源オン機能は使えなくなります。学習内容やシステムコントロール機能を消去すれば、再び電源オン機能が使えるようになります。なお、システムコントロール設定と学習の両方を行った場合は、「学習」した内容の方が優先されます。

進んだ使いかた

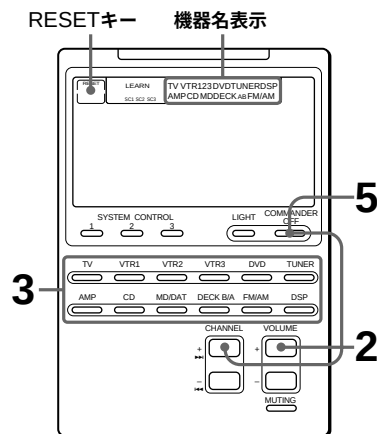
機器選択ボタンの機能を拡張する (つづき)

機器選択に続けて必ず行う操作をひとつ記憶させる

機器選択ボタンに、「学習」により手順をひとつ追加することができます。機器選択ボタンを押すだけで、機器選択に続いて必ず行う操作が自動的に行えます。例えば、CDプレーヤーをかけるとき、必ずアンプの入力をCDに切り換える必要があるなら、機器選択ボタンのCDボタンにアンプの入力切り換えの信号を記憶させます。CDボタンひとつ押せば、CDプレーヤーの操作画面が表示されると同時に、アンプの入力切り換えがCDに変わり、便利です。(この場合、アンプの電源はあらかじめオンにしておく必要があります。)

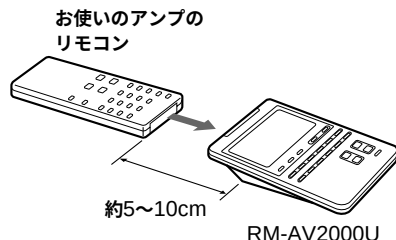
ご注意

学習できないリモコン信号もあります。

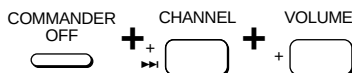


例: CDボタンにアンプの入力切り換えを記憶させるには

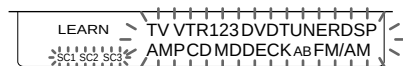
- 1 本機 (RM-AV2000U) とお使いの機器 (アンプ) のリモコンを向かい合わせにする。



- 2 COMMANDER OFFを押しながら、CHANNEL+とVOLUME+を押す。



「LEARN」が表示され、すべての機器名表示が点滅します。



ご注意

すでに手順をひとつ学習してある機器選択ボタン名の表示は点灯します。このボタンに学習させるには、まず学習済みの内容を消去してください (35ページ)。

- 3 学習させる機器選択ボタンを押す。



選んだ機器名の表示が点灯し、「LEARN」が点滅します。



- 4** 本機からピーという音がするまで、お使いの機器（アンプ）のリモコンボタンを押し続ける。
（ピーという音がする前にボタンから手を離すと、正しく学習されないことがあります。）

INPUT SELECT



「LEARN」表示が点滅から点灯に変わります。

「ビビビビビ」という音がして「NG」が点滅したときは

学習ができませんでした。もう一度、手順3と4を行ってください。
リモコン信号によっては、何度か学習操作を行わないと学習が完了しないことがあります。手順4のあとで「NG」が点滅し、そのまま「LEARN」が点滅したときは、もう一度手順4を繰り返してください。

- 5** COMMANDER OFFを押して学習操作を終了する。

COMMANDER
OFF



機器選択ボタンに学習させた信号を消去するには

- 1 COMMANDER OFFを押しながら、CHANNEL+とVOLUME+を押す。
- 2 RESETキーを押しながら、消去したい機器選択ボタンを押す。

ご注意

- すでにその機器選択ボタンに電源オン機能（33ページ）やシステムコントロール機能（30ページ）が設定されていても、左記の操作で手順をひとつ学習させることはできません。ただし、学習内容が優先されるため、電源オン機能やシステムコントロール機能は使えなくなります。
学習内容を消去すれば、再び電源オン機能やシステムコントロール機能が使えるようになります。
- 左記の操作で手順をひとつ学習してある機器選択ボタンには、システムコントロール機能（30ページ）を設定することはできません。
- 左記の操作で手順をひとつ学習してある機器選択ボタンには、電源オン機能（33ページ）の設定操作はできませんが、そのままでは電源オン機能は使えません。
学習内容を消去すれば、電源オン機能が使えるようになります。

すべての機器の電源が切れるように設定する

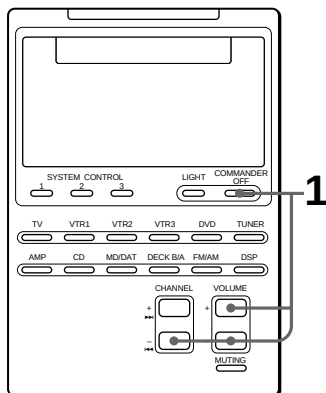
—システム電源オフ機能(ソニー製品のみ)—

システム電源オフ機能を設定すると、COMMANDER OFFボタンを3秒間押しただけで、すべてのソニー製AV機器の電源を切ることができます。

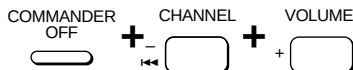
ご注意

- ソニー製品でも、一部のAV機器で対応しないものがあります。
- 各機器に電源オフの信号が送られる間隔はSYSTEM CONTROL1ボタンのシステムコントロール機能の間隔(32ページ)と同じです。SYSTEM CONTROL1ボタンの間隔を変更すると、システム電源オフ機能の間隔も変わります。

システム電源オフ機能を設定するには



1 COMMANDER OFFを押しながら、CHANNEL-とVOLUME+を押す。



「POWER OFF」が表示されます。(ボタンから手を離すと、表示は消えます。)



システム電源オフ機能を解除するには
上記の手順を繰り返します。システム電源オフ機能が解除されると、「OFF」表示が消えます。



機器選択ボタンの表示と違う機器を設定する

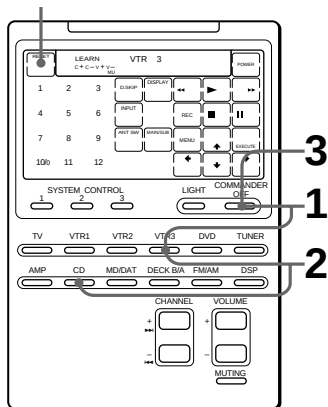
使用していない機器選択ボタンには、表示とは違う機器を自由に設定することもできます。

例えば、2台のビデオデッキと2台のCDプレーヤーをお使いのときは、VTR3ボタンに2台目のCDプレーヤーの設定をし、CDの機器選択ボタンとして使うことができます。

ご注意

- 機器選択ボタンに他の機器を設定すると、メーカー番号の設定は消去されます。もとの機器に設定しなおしても、メーカー番号はもとに戻りません。再び、もとの機器で使う場合は、あらためてメーカー番号の設定が必要です(11ページ)。
- TVボタンまたはAMPボタンに違う機器を設定すると、テレビやアンプの音量調節(15、24ページ)が他の機器を選んでいるときに操作できなくなりますのでご注意ください。

RESETキー

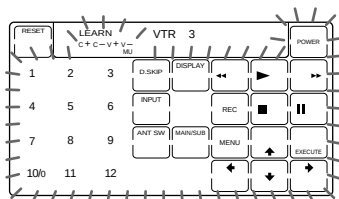


例: VTR3ボタンにCDプレーヤーを設定するには

- COMMANDER OFFを押しながら、VTR3を押す。

COMMANDER OFF + VTR3

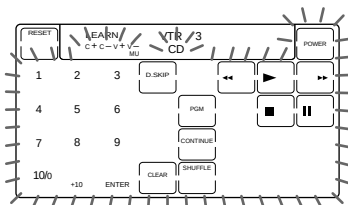
選んだ機器(VTR3)の操作キーが点滅します。



- VTR3を押しながら、CDを押す。

VTR3 + CD

ピーという音がして、新しく設定した機器(CD)の操作キーが表示されます。新しく設定した機器名(CD)が点滅し、もとの機器名(VTR3)が点灯します。



進んだ使いかた

機器選択ボタンの表示と違う機器を設定する(つづき)

カセットテープデッキ(DECK B/A)を他の機器選択ボタンに設定するときは

ひとつのボタンに、デッキAとデッキBの両方を設定することはできません。

設定したいデッキが表示されない場合は、COMMANDER OFFボタンを押していったん手順を終え、DECK B/Aボタンを押して設定したいデッキを選んだあとで、手順1からやりなおしてください。

3・新しく設定した機器がソニー製品の場合は、COMMANDER OFFを押して、設定手順を終了する。

- メーカー番号の設定が必要なときは、11～12ページの手順を行う。
- 学習機能でリモコン信号を記憶させたいときは、18～19ページの手順1と、手順3から6を行う。

ご注意

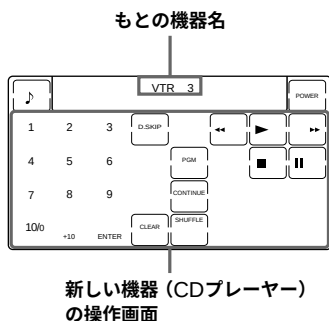
手順2で機器選択ボタンを押したときに、「ピピ」という音がして「NG」が点滅したときは、学習機能(18ページ)でリモコン信号が記憶してあるキーかボタンがあるため、他の機器を設定することができません。学習した信号を消去してから、もう一度上記の手順を行うか、学習済みのキーやボタンのない他の機器選択ボタンを選んでください。

DVDプレーヤー(DVD)やLDプレーヤー(VD)を他の機器選択ボタンに設定するとき

設定したい機器名(「DVD」または「VD」)が表示されなかったら、手順3の前に手順2を繰り返して、設定したい機器名(「DVD」または「VD」)を点滅させてください。

他の機器を設定したあとにリモコンを使うときは

他の機器を設定した機器選択ボタンを押します。新しい機器の操作キーが表示され、リモコン操作することができます。ただし、機器名の表示はもとの機器のままです。(37ページの例では、VTR3ボタンを押すと下記のような画面表示になります。)



機器選択ボタンをもとの機器の設定に戻すには

- 1 COMMANDER OFFを押しながら、もとの設定に戻したい機器選択ボタン（37ページの例ではVTR3）を押す。
- 2 RESETキーを押しながら、もう一度同じ機器選択ボタンを押す。
機器選択ボタンは工場出荷時の設定に戻ります。

ご注意

他の機器を設定したあとに、学習機能（18ページ）でキーボタンにリモコン信号を記憶させていると、上記の手順を行っても学習した信号が消去されるだけで、機器の設定はそのままです。もとの機器の設定に戻すには、もう一度手順2を行ってください。

よく使うリモコン操作 をSYSTEM CONTROLボタンに 学習させる

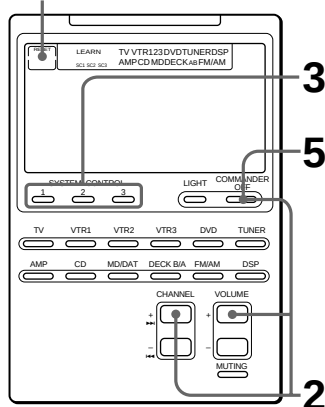
SYSTEM CONTROLボタンは、システムコントロール機能（26ページ）を使わない場合、リモコン操作をひとつ学習させてワンタッチボタンとして使うこともできます。

SYSTEM CONTROLボタンは単独で機能するため、機器選択ボタンを押して機器を選ぶというような前提操作を必要としません。ボタンをひとつ押すだけで操作を行いたいときは、SYSTEM CONTROLボタンに学習させて使うと便利です。

ご注意

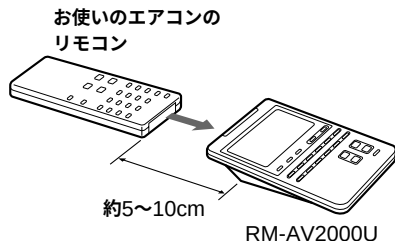
学習できないリモコン信号もあります。

RESETキー

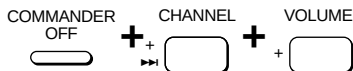


例: お使いのエアコンの電源「入/切」
信号をSYSTEM CONTROL2ボタ
ンに記憶させるには

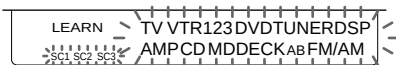
- 1 本機（RM-AV2000U）とお使いのエアコンのリモコンを向かい合わせにする。



- 2 COMMANDER OFFを押しながら、CHANNEL+とVOLUME+を押す。

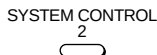


「LEARN」が表示され、学習可能なSYSTEM CONTROLボタンの表示が点滅します。

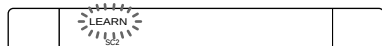


信号を学習しているSYSTEM CONTROLボタンがある場合は、その表示は点灯します。そのボタンに学習させたいときは、まず学習済みの信号を消去してください。学習可能になると表示が点滅に変わります。

3 学習させるSYSTEM CONTROLボタンを押す。



選んだSYSTEM CONTROLボタンの表示が点灯し、「LEARN」が点滅します。



4 本機からピーという音がするまで、お使いのエアコンのリモコンボタンを押し続ける。

(ピーという音がする前にボタンから手を離すと、正しく学習されないことがあります。)

運転／停止



「LEARN」表示が点滅から点灯に変わります。

「ビビビビビ」という音が生て「NG」が点滅したときは

学習ができませんでした。もう一度、手順3と4を行ってください。

リモコン信号によっては、何度か学習操作を行わないと学習が完了しないことがあります。手順4のあとで「NG」が点滅し、そのまま「LEARN」が点滅したときは、もう一度手順4を繰り返してください。

5 COMMANDER OFFを押して学習操作を終了する。



ご注意

すでにそのSYSTEM CONTROLボタンにシステムコントロール機能(26ページ)が設定されていても、この操作で「学習」をさせることはできません。ただし、学習内容が優先されるため、システムコントロール機能は使えなくなります。

学習内容を消去すれば、再びシステムコントロール機能が使えるようになります。

学習したリモコン信号を消去するには

- 1 COMMANDER OFFを押しながら、CHANNEL+とVOLUME+を押す。
- 2 RESETキーを押しながら、消去したいSYSTEM CONTROLボタン(1、2、または3)を押す。
消去したボタンの表示が点滅します。

新たに信号を学習させたい場合は、左記の手順3から5を行ってください。

よく使うリモコン操作をSYSTEM CONTROLボタンに学習させる (つづき)

エアコンの信号を学習させる 場合のご注意

季節による違いについて

季節によりエアコンの設定や操作を変える必要がある場合は、季節の変わりめごとに、本機にリモコン信号を学習しなおしてください。

エアコンの入/切がうまくできないときは

本機にエアコンの電源入/切（運転/停止ボタンなど）の信号を学習してもうまく操作できない場合があります。

お使いのリモコンではひとつのボタンで入/切ができるのに、学習させた本機のボタンでは「入」または「切」片方しかできない場合は、下記の手順で2つのボタンに学習しなおせば、本機で操作できるようになります。

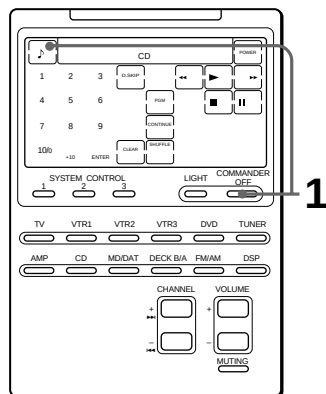
- 1 エアコンの入/切を学習させたボタンの学習内容をいったん消去する。
(40ページの例ではSYSTEM CONTROL2ボタンの学習内容を消去してください。)
- 2 そのボタンに、もう一度同じ手順でエアコンのリモコン信号を学習させる。
- 3 続けて、別のボタンにエアコンの同じボタンのリモコン信号を学習させる。
(例えば、SYSTEM CONTROL3ボタンに学習させます。)

これで、本機の2つのボタンにはそれぞれエアコンの電源入（運転）の信号と、電源切（停止）の信号が記憶されるので、本機でエアコンを操作することができます。

リモコン操作をロックする

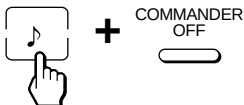
—ホールド機能—

誤操作を防ぐために、すべてのキーやボタンをロックすることができます。



液晶キー表示が表示されていないときは、いずれかのボタン（SYSTEM CONTROLとCOMMANDER OFF以外）を押して表示させてください。

- 1 ♪キーを押しながら、COMMANDER OFFを押す。

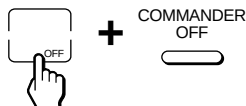


ピーという音がして、「OFF」が表示されます。

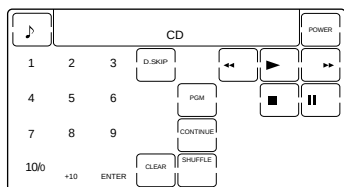


ホールドを解除するには

- 1 OFFキーを押しながら、COMMANDER OFFボタンを押す。



「ピッ」という音がして、「OFF」表示が消えます。

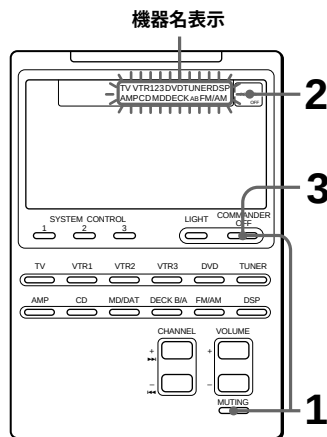


ホールド機能を設定したときと同じ画面に戻ります。

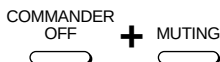
メーカー番号の設定や 学習した信号をロック する

—プリセットロック機能—

メーカー番号の設定 (11ページ)、学習したリモコン信号 (18、34、40ページ)、システムコントロール機能の設定 (26、30ページ)、音量調節の設定 (24ページ)、システム電源オフ機能の設定 (36ページ) を、誤って変更・追加・消去したりできないようにロックすることができます。



1 COMMANDER OFFを押しながら、MUTINGを押す。



すべての機器名表示が点滅し、
「POWER OFF」が表示されます。

2 POWER OFFキーを押す。



機器名表示が点滅から点灯に変わり、
「POWER ON」が点滅します。



3 COMMANDER OFFを押す。



プリセットロック機能が働いているときは

メーカー番号を設定 (11ページ) したり、学習操作 (18ページ) をしようをすると、「ピピ」という音がして、「NG」が点滅します。

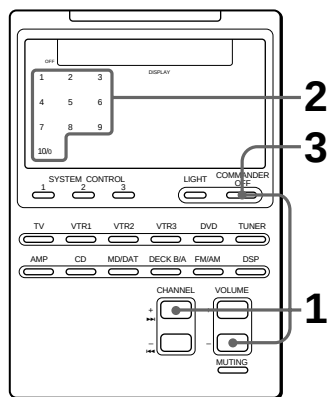
プリセットロック機能を解除するには
プリセットロックを解除するには、上記と同じ手順を行います。手順2でPOWER ONキーを押すと、「POWER OFF」が表示されます。

オートパワーオフの時間を変える

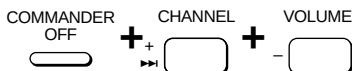
工場出荷時には、リモコンを使わずに10分以上放置すると自動的にリモコンの電源が切れる（オートパワーオフ）ように設定されています。電源が切れるまでの時間は、10分単位で90分までに設定しなおすることができます。また、オートパワーオフ機能が働かないように設定することもできます。

ご注意

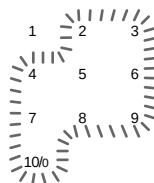
オートパワーオフ機能は、リモコンの電源を切るだけで、操作する機器の電源を切るものではありません。



- 1 COMMANDER OFFを押しながら、CHANNEL+とVOLUME-を押す。



現在設定されているオートパワーオフ時間を表す数字が点灯し、他の数字は点滅します。



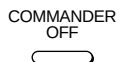
- 2 1～9の数字キーを押して、オートパワーオフの時間を選ぶ。オートパワーオフ機能を解除（自動的に電源が切れないように）するときは、数字キーの10/0を押す。

例えば、オートパワーオフの時間を20分に設定するには、数字キーの2を押します。



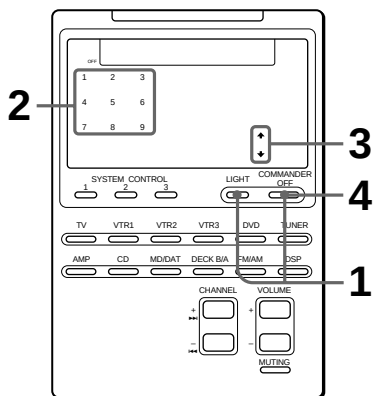
ピーという音がして、「2」の表示が点滅から点灯に変わります。

- 3 COMMANDER OFFを押す。

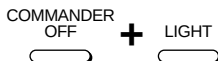


表示画面の照明を調節する

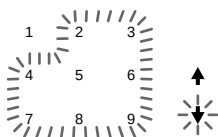
工場出荷時には、表示窓の照明は10秒たつと自動的に消灯するように設定されています。この時間（10秒単位で10秒から90秒まで）と、照明の明るさ（「明るい」または「暗い」の2段階）は変更することができます。



- 1** COMMANDER OFFを押しながら、LIGHTを押す。



現在設定されている照明自動オフ時間を表す数字と現在の明るさを表す矢印が点灯し、他の数字と矢印は点滅します。（↑が「明るい」、↓が「暗い」を示しています。工場出荷時は「明るい」に設定されています。）



- 2** 1～9の数字キーを押して、照明自動オフの時間を選ぶ。

例えば、照明自動オフの時間を20秒に設定するには、数字キーの2を押します。



ピーという音がして、「2」の表示が点滅から点灯に変わります。

- 3** ↑キーまたは↓キーを押して、明るさを選ぶ。

照明を明るくするには↑キーを、暗くするには↓キーを押します。



ピーという音がして、選んだ矢印の表示が点灯します。

- 4** COMMANDER OFFを押す。



正しくお使いいただくために

使用上のご注意

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 暖房器具のそばや直射日光のあたる場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 操作する機器のリモコン受光部に、直射日光や強い照明があたらないようにしてください。リモコン操作ができない場合があります。

お手入れのしかた

リモコンの表面は、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面を傷めますので、使わないでください。

主な仕様

動作距離

約10m* (正面距離)

学習可能キー数

約800 (ソニーリモコン信号にて)

学習可能ビット数

180ビット

電源

リモコン操作用

DC 6V、単3形乾電池4個

照明用 DC 3V、単3形乾電池2個

電池持続時間

約6か月 (使用頻度で変わります)

最大外形寸法

約120×175×45mm (幅×高さ×奥行き)
(EIAJ**)

質量

約420g (電池含む)

付属品

- 単3形乾電池 (6)
- 取扱説明書 (1)
- 「メーカー番号一覧表/液晶キー表示一覧表」 (1)
- 保証書 (1)
- 「ソニーご相談窓口のご案内」 (1)

* 使用機器のメーカー・機種によっては距離が変わる場合があります。

** EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

故障かな？とお考えになる前に

本機が正しく動作しないときは、まず電池を確認（7ページ）してから、下記の項目をチェックしてください。それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	処置
リモコンでお手持ちの機器が操作できない	• 操作する機器から離れすぎていませんか？ 10m以内の距離でリモコンを使ってください。 • 操作する機器にリモコンを向けているか、操作する機器のリモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。 • 必要なら、まず操作する機器の電源を入れてください。 • 正しい機器選択ボタンを押しているか確認してください。DVDボタン、DECK B/Aボタンの場合は、操作する機器名が表示されているか確認してください。 • お使いの機器が赤外線方式のリモコン対応かどうか確認してください。操作する機器にリモコンが付属されていない場合は、リモコンでは操作できないことがほとんどです。
音量調節ができない	• 映像機器の音量調節が正しく設定されていますか？ 『オーディオシステムにつないだ映像機器の音量を調節する』（24ページ）を参照して正しく設定してください。 • TVボタンやAMPボタンに違う機器が設定（37ページ）されていませんか？ 表示と違う機器を設定していると、TVやAMPボタン以外の操作画面でVOLUME+/-ボタンおよびMUTINGボタンが使えなくなります。
メーカー番号を設定しても操作できない	• 正しいメーカー番号を設定しましたか？ 同じメーカーでも複数の番号がある場合は、『メーカー番号一覧表』にある他の番号を設定してみてください。 • 同じメーカーでも、機種によっては記憶されているものと異なるリモコン信号を使用している場合があります。メーカー番号を設定しても操作できないキーがある場合は、学習機能でリモコン信号を記憶させてください（18ページ）。
学習機能で記憶させた操作ができない	• 正しく学習できなかった可能性があります。『正しく学習させるコツ』（21ページ）を参照して、もう一度学習をやりなおしてください（18ページ）。
「ピピピピピ」と鳴り、「NG」が点滅する	• 正しく学習できませんでした。『正しく学習させるコツ』（21ページ）を参照して、もう一度学習をやり直してください（18ページ）。 • メーカー番号の設定ができませんでした。付属の『メーカー番号一覧表』を参照して、もう一度メーカー番号の設定をやり直してください。（11ページ）

症状	処置
「ピピ」と鳴り、「NG」が点滅する	• プリセットロック機能が働いていませんか？ プリセットロックを解除（44ページ）してから設定や学習の操作をしてください。 • 信号を学習済みのSYSTEM CONTROLボタンや機器選択ボタンにシステムコントロール機能を設定しようとしていませんか？ 学習した内容を消去（35、41ページ）してから、もう一度設定操作をしてください。
学習中に「NG」が表示される	• メモリー容量がいっぱいになっていませんか？ 使用頻度が低いキーに学習させた信号を消去（22ページ）してから、学習を行ってください。
システムコントロール機能が正しく操作できない	• 正しい順序で操作を記憶させたか確認してください（27ページ）。 • リモコンの向きを変えて、操作してみてください。それでも操作できない場合は、各機器をなるべく近づけて設置してください。 • 操作する各機器の状態を確認してください（29ページ）。 • 記憶させた操作手順に使うキーやボタンに対して、メーカー番号を変えたり、学習機能で新たに別の信号を記憶させたりしていませんか？ この場合、連続操作を行うと、変更後のリモコン信号が送られます。
リモコンの電源がひとりで切れる	• リモコンを10分以上使わないと自動的に電源が切れるように、工場出荷時に設定されています（オートパワーオフ機能、45ページ）。この時間は好みで10分から90分までの間で変更するか、オートパワーオフ機能が働かないように設定することもできます。
ボタンを押してもリモコンの電源が入らない	• ホールド機能（43ページ）が働いていませんか？（このときは液晶画面の左上に「OFF」と表示されています。） 43ページの手順でホールドを解除してください。

記憶されている機能一覧表

ご注意

メーカーや機種によっては操作できない機能もあります。

TV (テレビ)、VTR1、2、3 (ビデオデッキ) 50ページ

TV (テレビ)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~12	チャンネル選択 (1~12、10キー選択の場合10/0は0)
BS	BS操作 (16ページ参照)
DISPLAY	テレビの画面表示切り換え
INPUT	入力切り換え
SLEEP	スリープタイマー
MAIN/SUB	音声切り換え
WIDE	ワイド画面操作 WIDEキー+1: 横長モード オート WIDEキー+2: ノーマル縦横 WIDEキー+3: ズーム縦横 拡大 WIDEキー+4: ワイド横拡大/ 横長 WIDEキー+5: ワイドズーム
MENU	メニュー表示
EXECUTE	選択項目の実行
↑	カーソルを上へ移動
←	カーソルを左へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
CHANNEL+/ ーボタン	次のチャンネルへ: + 前のチャンネルへ: -
VOLUME+/- ボタン	音量大/小
MUTING ボタン	消音

VTR1、2、3 (ビデオデッキ)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~12	チャンネル選択 (1~12、10キー選択の場合10/0は0)
BS	BS操作 (17ページ参照)
DISPLAY	画面表示
INPUT	入力切り換え
ANT SW	アンテナ出力切り換え
MAIN/SUB	音声切り換え
REC	録画 (RECを押しながら▶を押す*)
◀◀	巻戻し
▶▶	再生
▶▶▶	早送り
■	停止
	一時停止
MENU	メニュー表示
EXECUTE	選択項目の実行
↑	カーソルを上へ移動
←	カーソルを左へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
CHANNEL+/ ーボタン	次のチャンネルへ: + 前のチャンネルへ: -

* 本機では、誤って録画が始まらないように、RECキー単独では操作できないようになっています。学習を行えば単独でも操作できます (20ページ)。

DVD (DVDプレーヤー)、VD (LDプレーヤー)	51ページ
TUNER (デジタルCS放送チューナー/ケーブルテレビ用ホームターミナル) .	52ページ
AMP (アンプ)、CD (CDプレーヤー)	54ページ
MD (MDデッキ)、DAT (DATデッキ)	55ページ
DECK B/A (カセットテープデッキ)、FM/AM (FM/AMチューナー)、 DSP (デジタルサラウンドプロセッサー)	56ページ

DVD (DVDプレーヤー)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~10/0	数字ボタン (画面上の項目選択)
ENTER	選択項目の実行
AUDIO	音声切り換え
DISPLAY	画面表示
SUBTITLE	サブタイトル切り換え
ANGLE	アングル切り換え
TITLE	タイトルメニュー表示
CLEAR	選んだ数字の取り消し
RETURN	ひとつ前に選択していた画面へ
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
	一時停止
DVD MENU	DVDメニュー表示
EXECUTE	選択項目の実行
↑	カーソルを上へ移動
←	カーソルを左へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
CHANNEL ⁺ 	次の場面/曲へ ボタン
CHANNEL ⁻ 	前の場面/曲へ ボタン

VD (LDプレーヤー)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~10/0	数字ボタン (0~9)
+10	数字ボタン (10~以上)
ENTER	実行
DISPLAY	画面表示
CLEAR	取り消し
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
	一時停止
CHANNEL ⁺ 	次の場面/曲へ ボタン
CHANNEL ⁻ 	前の場面/曲へ ボタン

TUNER (デジタルCS放送チューナー/ケーブルテレビ用ホーム

本機の キー表示	機能 (お手持ちの機器のリモコンのボタン)						
メーカー名	ソニー	パナソニック/ ナショナル (松下)	東芝、 マスプロ 電工	日立	シャープ	NEC	ユニデン
POWER	電源	電源	電源	電源	電源	電源	電源
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10/0	10/0	0	0	0	0	0	0
ENTER	12/選局	#	チャンネル	登録			終了
DISPLAY	画面表示	画面表示	表示	画面表示	表示切換	ロゴ表示	
INPUT	サービス 切換	信号切換					信号切換
SLEEP		ガイド					
GENRE		裏番組	ジャンル		ジャンル		ジャンル
MAIN/ SUB	二重音声		音多切換	二重音声		二重音声	音声切換
CLEAR		戻る				キャンセル	
RETURN	ジャンプ	前選局		前選局	チャンネル バック		前チャン ネル

ターミナル)

本機の
キー表示

機能 (お手持ちの機器のリモコンのボタン)

メー カー 名	ソニー	パナソニック/ ナショナル (松下)	東芝、 マスプロ 電工	日立	シャープ	NEC	ユニデン
TV	予約一覧	サブ メニュー					予約確認
GUIDE	番組ガイド	番組表	番組ガイド	番組ガイド	番組ガイド	チャンネル ガイド	番組ガイド
INFO	番組説明	放送内容	機能	詳細	番組情報		ページ
FAVORITE	お好み一覧	おすすめ		マイチャン ネル	マイプログ ラム	プリセット	お好み
MENU	メニュー	メニュー	メニュー	メニュー	メニュー	メニュー	メニュー
EXECUTE	決定	決定	決定	決定	決定/ スチル	決定/ スチル	決定/ スチル
◀		ページ↓	リザーブ (記憶)	ページ↓	ページ←		情報↓
▶		ページ↑	リザーブ (呼出)	ページ↑	ページ→		情報↑
↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
←	←	←	←	←	←	←	←
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
→	→	→	→	→	→	→	→
CHANNEL + ボタン	チャンネル +	チャンネル +	チャンネル +	チャンネル +	ページ↑	チャンネル +	チャンネル +
CHANNEL - ボタン	チャンネル -	チャンネル -	チャンネル -	チャンネル -	ページ↓	チャンネル -	チャンネル -

その他

記憶されている機能一覧表 (つづき)

AMP (アンプ)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~10/0	アンプの数字ボタン
VIDEO1	ビデオ1入力
VIDEO2	ビデオ2入力
VIDEO3	ビデオ3入力
VDP/AUX	DVD/LDプレーヤー入力、 AUX入力
TV	テレビ入力
CD	CDプレーヤー入力
DAT/MD	DAT/MDデッキ入力
TAPE	カセットテープデッキ入力
TUNER	チューナー入力
PHONO	レコードプレーヤー入力
SHIFT	プリセット切り換え
MENU	メニュー表示
↑	カーソルを上へ移動
←	カーソルを左へ移動
↓	カーソルを下へ移動
→	カーソルを右へ移動
CHANNEL  ボタン	次のプリセット局へ、 高い周波数へ
CHANNEL  ボタン	前のプリセット局へ、 低い周波数へ
VOLUME+/- ボタン	音量大/小
MUTING ボタン	消音

CD (CDプレーヤー)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~10/0	曲番号の選択 (0~9)
+10	曲番号の選択 (10~以上)
ENTER	実行
D.SKIP	ディスクの選択 (CDチェンジャーの場合)
PGM	プログラム再生
CONTINUE	連続再生
CLEAR	取り消し
SHUFFLE	シャッフル再生
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
	一時停止
CHANNEL  ボタン	次の曲へ
CHANNEL  ボタン	前の曲へ

MD (MDデッキ)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~10/0	曲番号の選択 (0~9)
+10	曲番号の選択 (10~以上)
ENTER	実行
D.SKIP	ディスクの選択 (MDチェンジャーの場合)
DISPLAY	表示
PGM	プログラム再生
CONTINUE	連続再生
CLEAR	取り消し
SHUFFLE	シャッフル再生
REC	録音 (▶と二重押し)
◀◀	早戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
	一時停止
CHANNEL ⁺ ボタン	次の曲へ
CHANNEL ₋ ボタン	前の曲へ

DAT (DATデッキ)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~10/0	曲番号の選択 (0~9)
+10	曲番号の選択 (10~以上)
ENTER	実行
DISPLAY	表示
REC	録音 (▶と二重押し)
◀◀	巻戻し
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
	一時停止
○	録音ミュート
CHANNEL ⁺ ボタン	次の曲へ
CHANNEL ₋ ボタン	前の曲へ

DECK B/A (カセットテープデッキ)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
D.SKIP	テープデッキ選択
REC	録音 (▶と二重押し)
◀◀	巻戻し
◀	裏面の再生
▶	再生
▶▶	早送り
■	停止
	一時停止
○	録音ミュート

FM/AM (FM/AMチューナー)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
1~10/0	数字ボタン (0~9)
+10	数字ボタン (10~以上)
ENTER	実行
BAND	バンド切り換え
SHIFT	プリセット切り換え
◀	低い周波数へ
▶	高い周波数へ
CHANNEL $\uparrow$ ボタン	次のプリセット周波数へ
CHANNEL $\downarrow$ ボタン	前のプリセット周波数へ

DSP (デジタルサラウンド プロセッサー)

本機のキー表示	機能
POWER	電源オン/オフ
CENTER	センタースピーカーのレベル調整
REAR ◊	リアスピーカーのレベル調整
SUB WOOFER ◊	サブウーファーのレベル調整
EFFECT ◊	エフェクト調整
BAL (◊)	バランス調整
SOUND FIELD	サウンドフィールドの オン/オフ
GENRE	サウンドフィールドの ジャンル選択
T.TONE	テストトーン
MODE	サウンドフィールドの モード選択
MENU	メニュー表示
◀	入力選択<
▶	入力選択>
↑	デジタルプロセッシング コントロール入
←	デジタルプロセッシング コントロール<
↓	デジタルプロセッシング コントロール下
→	デジタルプロセッシング コントロール>

操作早わかり一覧表

操作	ボタン	参照ページ
メーカー番号を設定する	COMMANDER OFF + MUTING	11ページ
キーやボタンに信号を記憶させる	COMMANDER OFF + 機器選択ボタン	18ページ
機器選択ボタンに他の機器を設定する	COMMANDER OFF + (設定する) 機器選択ボタン ↓ (設定する) 機器選択ボタン + (新しい機器の) 機器選択ボタン	37ページ
音量調節機器の設定を変える	COMMANDER OFF + VOLUME+ + VOLUME-	24ページ
SYSTEM CONTROLボタンにシステムコントロール機能を設定する	COMMANDER OFF + SYSTEM CONTROL(1、2、3)	26ページ
システム電源オフ機能を設定する*	COMMANDER OFF + CHANNEL- + VOLUME+	36ページ
機器選択ボタンに電源オンの信号を追加する*	COMMANDER OFF + VOLUME- + 機器選択ボタン	33ページ
SYSTEM CONTROLボタンや機器選択ボタンに学習させる	COMMANDER OFF + CHANNEL+ + VOLUME+	34、40ページ
機器選択ボタンにシステムコントロール機能を設定する	COMMANDER OFF + VOLUME+ + 機器選択ボタン	30ページ
システムコントロール機能の操作ステップ間の間隔を調整する	COMMANDER OFF + CHANNEL+ + CHANNEL-	32ページ
オートパワーオフ時間を設定する	COMMANDER OFF + CHANNEL+ + VOLUME-	45ページ
照明の自動オフ時間や明るさを設定する	COMMANDER OFF + LIGHT	46ページ
リモコンをロックする	♪ + COMMANDER OFF	43ページ

その他

索引

五十音順

ア行

- 安全のために 2
- エアコンの信号の学習 40
- 液晶表示画面
 - 自動照明オフの時間を設定する 46
 - 照明の明るさを調整する 46
 - 操作キー表示 13
- お手入れ 47
- オートパワーオフ機能 45
- 音量調節 15、24

カ行

- 学習機能 18、34、40
 - リモコン信号を学習させる 18、34、40
 - リモコン信号を消去する 22、35、41
- 機器選択ボタン 9
 - システムコントロール機能を設定する 30
 - 電源オン機能を設定する 33
 - 表示と違う機器を設定する 37
 - リモコン信号を学習させる 34
- キータッチ音 9
- 工場出荷時の設定 10、24、29
- 故障 48

サ行

- システムコントロール機能 26
 - 消去する 28、31
 - 設定する 26、30
 - 操作間の間隔を調節する 32
- システム電源オフ機能 36
 - 設定する システム コントロール 36
 - SYSTEM CONTROL1ボタン 26
- 消去
 - 学習したリモコン信号を消去する 22、35、41
 - システムコントロール機能を消去する 28、31
- 照明
 - 明るさを調整する 46
 - 自動照明オフの時間を設定する 46
- 電池 7

タ行

- 電源（リモコンの） 9
- 電源オフ機能
 - すべての機器の「システム電源オフ機能」参照
 - リモコンの「オートパワーオフ機能」参照
- 電源オン機能 33
 - 設定する システム コントロール 33
 - SYSTEM CONTROL3ボタン 26
- 電池 7

ナ行

入力切り換え(テレビ、ビデオの) 16

ハ行

プリセットロック機能 44

変更

学習したリモコン信号を変更する
22

オートパワーオフの時間を変更する
45

システムコントロールの操作間隔を
変更する 32

(その他の変更は「消去」参照)

ホールド機能 43

マ、ヤ行

メーカー番号 10

ラ、ワ行

連続操作

「システムコントロール機能」参照

ロック

メーカー番号や学習したリモコン
信号をロックする 44

リモコン操作をロックする 43

アルファベット順

BS機器の操作 16

C+、C-表示 19
ラン

LEARN表示 18、34、40

MU表示 19、25
ミューティング

MUTINGボタン 9、15、21、24

NG表示 48、49
レック

REC信号 20
リセット

RESETキー 13、20、22、23、28、
29、31、35、39、41
システム コントロール

SYSTEM CONTROLボタン 9

システムコントロール機能を設定
する 26

リモコン信号を学習させる 40

S1、S2、S3表示 32
ボリウム

VOLUMEボタン 9、15、21、24

V+、V-表示 19、25

そ
の
他

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではリモートコマンダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax…………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。